

44kw(60PS)級半履帯トラクタに装着可能な中型ビレットプランタ

従来機に比べ小型化，苗残量・投入量はモニタ監視可，覆土は新機構のロータリ式覆土装置で精度向上

背景・目的

- ・サトウキビ全茎式プランタ植付けでは，種苗調整のための労働力確保が困難な状況
- ・採苗・調苗をケーンハーベスタで行うことで省力化できるビレットプランタの普及が進行中
- ・狭い区画(20～30a規模)のほ場でも効率よく稼働できる中型ビレットプランタの実用化が急務

成果の内容



44kW(60PS)半履帯トラクタ装着を活用した作業状況

- ・44kW(60PS)級半履帯トラクタに装着可能
- ・20～30a区画のほ場でも効率よく稼働
- ・溝切り，植付け，施肥，施薬，覆土，鎮圧を一工程で作業
- ・覆土はロータリ式覆土装置を装備
- ・苗投入量(植付け量)はモニタ監視
- ・10a当たり植付け作業時間は0.5時間程度

名称	中型ビレットプランタ	
型式	MBP300	
全長×全幅×全高	mm	2000×2130×2720
質量	kg	660
転圧輪幅	mm	300
覆土方式	ロータリ式(4枚爪)	
適応トラクタ	44～59kW(60～80PS)	
装着方式	3点リンク	
肥料ホッパ容量	L	45
肥料繰出量	kg/10a	0～100(繰出回転調節)
粒剤ホッパ容量	L	10
粒剤繰出量	kg/10a	0～6.3(繰出回転調節)

導入メリット

- 採苗調苗作業は小型ケーンハーベスタ活用で超省力化が可能！
- 大型タイプに比べ全長が短く，枕地面積が減少！
- 半履帯式トラクタ活用でけん引力増！軟弱地盤対応力向上！圃場踏圧減！
- 中・大規模生産者の規模拡大に貢献！

期待される効果

サトウキビ植付け作業の超省力化

普及対象・範囲
サトウキビ生産者・奄美地域